

令和6年8月期 随時モニタリング実施について

日 時 令和6年9月4日（水）13時30分～15時30分

会 場 加茂野保育園 職員室

出席者 美濃加茂市・株式会社セリオ

内 容（○：市 ●：指定管理者）

・令和6年8月期の報告

1. 本部及び統括エリア長の報告について

【本部より】

- 水漏れ発生の件に関して（対応依頼）

その後の進捗状況の確認

- 水道を使用していないときの漏れの状況を確認するため、本日より9/10まで、閉園時と開園時のメーターの水量を記録し教えていただきたい。

- 承知した。

【統括エリア長より】

- 8/21 書類内部監査兼園訪問

個人情報・鍵・パソコン、金銭の管理をしっかりとできており、勤怠も守られている。訪問する度に雰囲気は良くなっている。職員が同じ方向へ向かっている。

職員と面談を実施。引き続き園長・副園長と共に加茂野保育園でどういうことを大切にして保育をしていってもらえるかを考えながら、面談を続ける。

2. 園長及び副園長による保育の様子について

- 年少クラスに重点的に保育に入っていたが全体的に落ち着いてきている。

クラス担任が意識して職員配置を自分たちで考え、動けるようになっていく。

自分たちで考え、園長や副園長にも発信ができるようになった。

また、フリー保育士を固定配置することで新卒の担任も落ち着き、全体の動きを把握できるようになってきている。

3. 児童の様子について

- ・大きな事故や怪我は無し（その都度、共有済み）

4. 保育の質の向上について

①人員体制の維持拡充

（職員採用、フリー保育士の配置、クラス複数担任制、保育補助スタッフ等の配置）

- 9月より正社員入職
- 来年度より新卒職員内定（現在、学生アルバイトとして入職中）
- 引き続き、保育士、通訳、警備員、用務員の採用に努める。

②積極的な研修受講

（子ども中心の保育理念に基づく研修、遊び中心の保育の実践方法に関する研修
コミュニケーションと関わりに関する研修）

- キャリアアップ研修、県保協研修、市保協研修などの参加
- 救命講習（看護師）
→講習内容を園内研修として実施し、共有をする。

③チームワークを高めるための取組み （園内研修、公開保育、交流保育）

- 園内研修の実施
- 公開保育の参加
- 交流保育→今後、実施予定

④保護者との円滑なコミュニケーション （保育参加の促進、園庭開放の実施、園内掲示物の充実、コドモンの活用 登降園時の直接的なコミュニケーション）

- 保育参加について
随時参加してもらっている。12月からは未満児の保育参加開始予定。
3期目の募集時点で、申し込みがない保護者に対しては担任から参加してもらうように声をかけていくなど個別での対応をしていきたい。
- 園庭開放の実施について
園と児童館と連携をとり、9/25実施予定。
- 園内掲示物も充実
おさんぽマップ、加茂野の地図や衛生関係（感染症など）のお知らせを掲示。
市の文書箱からのお知らせや地域のチラシ等も掲示していきたい。
- コドモンでの配信について
夏季保育中はお休みをしたが、7月から1か月以上毎日ドキュメンテーションを保護者向けに配信。保護者から「毎日配信は大変じゃないですか」というお声もいただいております。配信頻度については保護者アンケートを取るなどして検討したい。

⑤その他 （登降園時の見守り活動、地域との連携など）

- 地域との連携について
小学校との連携、運営委員会の参加。
民生委員の方より依頼を受け、やき芋会実施予定。（11月頃）

○地域との連携について民生委員会、第三者委員会、シルバー人材センター等できるところから取り組んでいていただきたい。

5. 保育サービスの充実について

- ①希望保育特別活動の実施
- ②トヨタカレンダーに基づく休日保育の実施
- ③医療的ケア児保育の実施
- ④その他（児童館利用者への園庭開放、おむつのサブスクリプション）

○こども未来課保育士から

①園の様子

- ・朝登園した子から戸外遊びを楽しめる環境になっている
- ・気温、天気注意到意し、安全に留意し保育を行っている
- ・子どもがやりたい遊びの環境設定
 - 泡遊び（泡だて器・泡立てネット・ボール・カップ）、水が使える環境、遊具の準備等がされている
 - 職員配置・・・保育士がかたまることなく、分かれて子どもを見守る姿があった配信用の動画・写真を撮影する保育士は、撮影の間、全体の子どもの姿が見えにくくなるので注意が必要
- ・登園してくる園児にすぐに気づき、職員が対応する姿が見られた
- ・戸外遊びを十分楽しめる時間を考えて保育されている
- ・片付け→手足を洗う→足を拭く→着替えの時間は、子どもたちもいろいろな動きをするので保育士の連携が必要。子どもが安全に、そして動きやすい動線を考える必要がある

②保育内容について

- ・戸外で子どもたちは、異年齢で関わったり、自分のやりたい遊びを楽しんだりしていた。
 - 泡遊び・・・ふわふわ・もこもこの泡を作る。（「気持ちいい」感触あそび）
 - カップに入れたり、ケーキのクリームに見立てたりする。
 - 手のひらにのせた泡が落ちないことに気づく。（驚き・発見）
 - 野菜の収穫・・・赤いトマトを見つける。色の違い、大きさの違い、匂いに気づく。
 - ごっこ遊び・・・言葉のやり取りを楽しむ。
 - 砂場・・・友達と一緒に山を作る。（協力・協同）
- ・保育士は、子どもたちの気づきやつぶやきを受け止めたり、必要な物を準備したりして、遊びが展開、継続するよう関わっていた。
- ・支援が必要な子どもへの対応について、保育士の連携が必要。子どもたちについて情報を共有し、園全体（チーム）で対応していくと良いと感じた。

・次回こども未来課保育士訪問日 令和6年9月27日（金）午前

・次回随時モニタリング 令和6年10月2日（水）13時30分から